

領域：	パブリック		
テーマ：	組織の経済学		
担当者名：	高砂孝緒		
開講時期：	後期：金曜 4・5・6限	募集定員：	25名
内容：	企業で起きる様々な問題はどのようにして発生するのか、また、解決するためにはどのような仕組みが必要なのか。ほとんどすべての企業が抱える悩みである。組織の経済学では、企業が抱える問題の本質を浮き彫りにして、問題解決のためのヒントとなる理論を提供する。この講義では、組織の経済学に関する講義・グループワーク・研究発表を通して、企業が抱える問題の本質について理解し、解決するための仕組みづくりについて学ぶ。		
到達目標：	新聞やニュースで報道される企業行動の背景には、どのようなメカニズムや効率性をもつかについて理解できるようになる。論理的かつ説得的な報告ができるようになる。		
講義方法：	毎回の講義は、主に以下で構成される。 ① 組織の経済学に関する各トピックの講義。 ② 講義内容に基づいたテーマに関するグループワーク・結果報告。 ③ 第15回の最終プレゼンに向けた研究テーマの分析・進捗報告。		
準備学習：	日頃から新聞、TV、webなどで企業・経済に関するニュースに注目しておくことが望ましい。		
成績評価：	提出物（20%）、個人・グループでの担当報告（50%）、最終プレゼン（30%）		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1以上（端数は切り捨て）欠席した場合は、単位の修得はできない。		
講義構成：	第1回～第6回：「人事評価制度」、「昇進の仕組み」、「雇用契約のあり方」、「情報伝達」、「権限移譲」、「労働者性」といった、組織の経済学の重要トピックを1つ選んで講義する。講義後、少人数のグループに分かれ、講義内容に関連するニュースや事例について議論・分析を行う。分析結果は、PowerPointなどを用いて報告資料を作成し、各グループで発見した内容を報告し合う。 第7回：複数の研究テーマを紹介したあと、受講生はそれらの中から1つを選び、同じ研究テーマを選んだ者同士のグループで研究を進める（興味のあるトピックを見つけておくこと）。 第8～14回：前半と同様、組織の経済学に関する重要トピックを1つ選び、講義する。講義後、少人数のグループに分かれて講義内容に関連するニュースや事例について議論・分析を行う。分析結果は、PowerPointなどを用いて報告資料を作成し、各グループで発見した内容を報告し合う。 第15回：最終プレゼン会を実施する。		
履修条件：	経済関連科目の単位を履修していることが望ましい。		
推奨科目：	特になし。		
選考方法：	人数が多い場合は、選考を行う。		
備考：	対面・オンラインに関わらずPCは必ず使用する。資料はMy KONAN上で添付ファイルにして掲載するので、必ず講義前にチェックしてから授業に出席すること。		
説明会：	受講希望者は可能な限り出席する事。		